

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #11

持続可能な農業に向かって!!

サツマイモ作りにも 最新の機械でスマート農業

移住して活躍するスタッフ
左:今年4月に福岡から
右:4～5年前に大分から

自動操縦も可能



まっすぐな畝立が完了



苗を手植えして移植完了



成長したサツマイモ畑

株式会社くしまアオイファーム（串間市）は、生産から加工・販売までを一貫して実施し、自社加工場では、冷凍焼き芋等の製造・販売を行っています。

地域の農家にサツマイモの利益を還元できるよう、香港、台湾、シンガポール、タイ、イギリス、ドイツなどへの輸出拡大に取り組み、5年間で売上げを30倍、雇用を20倍にして成長し続けています。

キュアリング※機能を持った貯蔵庫を保有することで品質を確保し、また、結露を防止する専用の袋をメーカーと共に開発したことで、輸送中の腐敗も低減しています。

輸出先には実際に足を運び、各地域のニーズ(サイズや品種)を把握するなどして、令和6年6月にフラッグシップ輸出産地に認定されました。

更に、串間市を「世界一のサツマイモブランド産地」にするため、スマート農業技術を活用した生産に力を注いでいます。

自動操舵システム※を用いたトラクターにより、作業の省力化を図るとともに、今後は、ドローンによる除草や収穫の代行、収穫機のレンタルや肥料散布サービスを展開し、地域の農家の作業軽減を目指しています。

自動操舵システム※を用いた
トラクターで畝立作業

※キュアリングとは、収穫時に傷ついたサツマイモを、貯蔵前に一定期間高温多湿条件下において傷口にコルク層をつくること。このことにより病原菌などの侵入を防ぐことができ、より良い状態を保つことができる。

※自動操舵システムとは、ハンドルを自動制御し、設定された経路を自動走行させること。

トピックス

米の生産者の皆様に向けた
今後の米の生産意向に関する
アンケート調査を実施しています

調査期間 令和7年7月31日まで



農林水産省のHP

拠点のうごき

● 6月7～8日

「宮崎市オーガニック収穫祭 in イオンモール宮崎」に参加しました。

宮崎市みどり農業推進協議会は、有機農産物の素晴らしさを伝えるため、イオンモール宮崎で「宮崎市オーガニック収穫祭」を開催しました。

会場では、有機農産物の販売のほか、宮崎市が県内で5番目となる「オーガニックビレッジ宣言」を行い、2日間で約1万人の来場者があり大盛況でした。

宮崎県拠点ブースでは、パンフレットやパネルを用いて「みどり戦略」のPRを行いました。



宮崎市のオーガニックビレッジ宣言

宮崎県拠点のブース



ディスカバー
農山漁村の宝 AWARD
～第12回選定～

応募は
こちらから

（応募受付中）

令和7年6月2日（月）～8月12日（火）

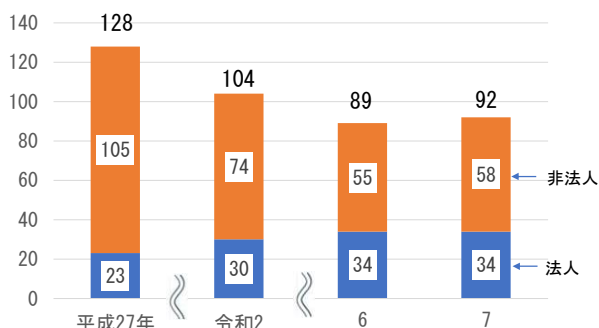
「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ
<https://www.discovermuranotakara.com/>

データで見る宮崎の 集落営農 !!

- 令和7年集落営農実態調査結果（令和7年2月1日現在）が公表され、宮崎県の集落営農数は「92」、うち法人の集落営農数は「34」で前年同様、非法人の集落営農数は「58」で前年から3増加しました。
- 農地の現況集積面積（規模別）の集落営農数割合をみると、法人は30～50haの面積規模割合が32.4%（実数11）と最も高く、非法人では10ha未満の割合が32.8%（実数19）と最も高くなっています。また、非法人の50～100ha規模の割合は17.2%（実数10）と、全国（7.1%）に比べ高い割合となっています。

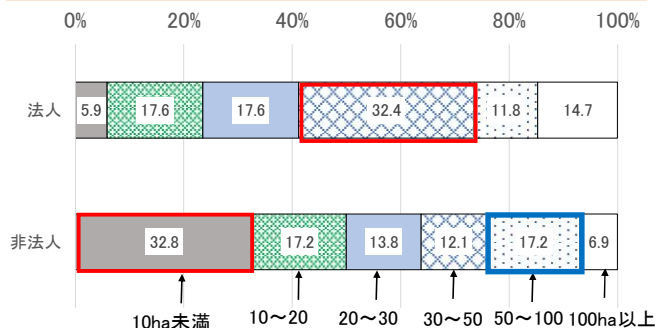
集落営農数の推移（宮崎県）

集落営農



資料：農林水産省「令和7年集落営農実態調査結果」

農地の現況集積面積※規模別 集落営農数割合（宮崎県）



※ 現況集積面積とは、経営耕地面積及び農作業受託面積を合計した面積をいう。

- 本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

● 宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

いよいよ夏本番ですが、引き続き、熱中症や身体の不調が心配です。高温多湿の宮崎の夏、食欲の落ちる夏バテ対策メニューの郷土料理「冷や汁」は、農林水産省のホームページでも紹介されています。ご飯を一杯食べて、夏を乗り切りましょう。(m/)

